

重点施策 ③

まちの価値を創る
～もっと魅力的なまちに～

★ゴルフ場 PR 事業 (100 万円)

本市における観光資源の1つである「ゴルフ場」にスポットを当て、本市を「ゴルフのまち」として PR することにより、本市の認知度向上および交流人口の増加を図ります。令和5年度は、市内6か所のゴルフ場を紹介するリーフレットを作成し、近隣市への情報発信を行います。



★サッカー交流公園運営業務 (6,662 万 4 千円)

令和5年4月からおのサン サッカーパーク (市立サッカー交流公園) に、新たに指定管理者制度を導入することで、スポーツ活動を通じた交流を生み、交流した人の笑顔が市内外に広がっていくような発信拠点としての運営を目指します。



☆きらら交流館再整備事業 (1,871 万 8 千円)

きらら交流館は、「焼野海岸・竜王山等のフィールド活動の魅力を最大化する『体験・活動拠点』」「市民の心身ともに健康な暮らしをサポートする『生活・交流拠点』」をコンセプトとして、リニューアルすることとしています。リニューアルにあたっては設計段階から指定管理者のアイデアを活かすため、指定管理者を先行公募することとし、令和4年度は公募のための準備作業を行いました。令和5年度は指定管理候補者とともに基本設計、実施設計に着手します。

☆現代ガラス展開催事業 (860 万円)

令和5年度に開催する「第9回現代ガラス展 in 山陽小野田」は市内の商業施設での展覧会のほか、山口県立萩美術館・浦上記念館において受賞作品を中心とした特別作品展を開催し、ガラス文化の魅力の発信と、交流人口の増加を図ります。また、令和2年度に引き続き上野の森美術館を会場とした特別作品展も開催し、ガラス文化の発信とあわせて、本市の魅力を首都圏で広く発信します。



☆ CLASS GLASS 推進事業 (501 万 5 千円)

ガラス文化の発展を目的に、令和4年2月に市内で活動するガラス造形作家とともにガラスアートブランド「CLASS GLASS (くらすガラス)」を立ち上げました。令和5年度以降も、「CLASS GLASS」ブランドの浸透を図り、「ガラスアートのまち山陽小野田」の魅力在全国に発信します。



横断的施策

★山口東京理科大学との協創・
データ活用によるスマートシティ推進事業
(3,881 万 4 千円)

令和4年度のDX協創プラットフォームにおいて提案された、スマートウォッチや健康データを活用した健康づくり事業について、令和5年度からの3年間で、実証を行いながら事業化します。なお、実施に当たっては、山口東京理科大学との連携により、データの分析・分析データの活用に取り組みます。

★小学校社会科副読本デジタル化事業
(921 万 5 千円)

小学校3・4年生の社会科学習では地域を教材化した副読本を使用して地域学習をしています。令和5年度は、新学習指導要領を踏まえて、本市の現状に合うように副読本「はっけん！山陽小野田」を改訂することとしています。この機会に、デジタル技術を活用し、一人1台端末による学習効果を更に高めるため、県内初となる副読本のデジタル教科書化に取り組みます。

その他の主要事業

☆都市計画図更新事業 (1,925 万円)

都市計画の変更、宅地開発の進展、公共施設の建替・新設等、地形や建物の大幅な変化に対応させるために都市計画基本図の更新を行い、関係図書を作成します。令和5年度は、令和3年度から取り組んでいる、日本初となる衛星画像データを利用した都市計画基本図の更新作業を行います。